

# 山梨の土地改良

VOL.

175

2020.4



## CONTENTS

ごあいさつ 会長・内藤久夫 ————— 1

令和2年度を迎えて 山梨県農政部部长・坂内啓二 ——— 2

第62回通常総会及び第61回功労者表彰式 ——— 3

新役員紹介 ————— 4

第12回山梨農業・農村シンポジウム

2020語り部交流会 in やまなし ————— 5

令和2年度山梨県農政部人事 ————— 6

山梨県土地改良事業団体連合会 機構図 ————— 7



# ごあいさつ

山梨県土地改良事業団体連合会

会 長 内 藤 久 夫



皆様方には、平素より本会の業務運営並びに本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご尽力を賜りお礼申し上げます。

先の総会におきまして当会の会長の職をおおせつかりました。

役員、会員の皆様はもとより、関係各位のご支援を得まして会の運営を行って参りますのでどうぞ宜しくお願いします。

さて、農業・農村は、安全で安心な食料を供給する場であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村環境の形成などの多面的機能を有しており、国民生活に大変重要な役割を果たしております。

近年の農業農村を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増大や鳥獣被害の増加、農業用施設の老朽化、気候変動による豪雨災害などにより農地、農業用水等の管理や営農の継続が厳しい状況が続いており、農家の意欲減退が懸念されるところです。

このような状況を改善、打開するために、国においては、「土地改良長期計画」として「豊かで競争力ある農業」、「美しく活力ある農村」、「強くてしなやかな農業・農村」の3つの政策を掲げ、各種施策を推進しております。令和2年度当初予算が、3月27日に成立し、農業農村整備事業関係予算は、当初4,973億円、令和元年度補正予算1,542億円を合わ

せ6,515億円となり、今後の農業農村整備が地域の発展に大きな役割を果たしていくものと感じております。

また、県におかれましても新たに本県農業振興の指針となる、「やまなし農業基本計画」を策定し、『生産者の所得向上』を目指し、「稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備」、「豊かで活気ある農山村の創造」という2つの目標の達成に向けて、成長産業化に向けた担い手の確保・育成、力強い農業を支える基盤整備等7つの施策を柱に取り組んでいくこととしております。

本会においても、国や県の施策に呼応し、地域の実情を踏まえた支援に努め、農業の成長産業化と農山村の活性化の実現に向け、国、県、市町村をはじめとする関係機関との連携を図り、会員の皆様方のニーズに応えられるよう農業農村の更なる振興と発展に努めて参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 令和2年度を迎えて

山梨県農政部

部長

ばんない

坂内

啓二



令和2年度の初めに当たり、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

山梨県土地改良事業団体連合会の皆様方には、日頃から県政推進に当たって深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度から猛威を振っている新型コロナウイルス感染症の拡大はこれまで経験したことの無い未曾有の危機であり、皆様におかれましては、ご不便やご負担、ご心労をおかけしているところですが、事態の収束、また、その後の反転攻勢に向けて県も国と一体となって迅速に取り組んで参ります。

さて、県では昨年12月、新たな県政運営の指針となる「山梨県総合計画」の農業部門の計画として「やまなし農業基本計画」を策定いたしました。

この基本計画では、本県の基幹産業である農業の成長産業化を図るために、生産者が豊かさを実感できることが重要であることから『生産者の所得の向上』を目指すべき姿とし、その実現に向けて「稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備」と「豊かで活気ある農山村の創造」という2つの大きな目標を掲げました。

令和2年度は本計画の実行の年として位置づけ、各種施策を着実かつスピーディーに進めて参ります。

また、この目標の達成に向けて「成長産業化に向けた担い手の確保・育成」、「農業生産の効率化、農産物の高品質化」、「力強い農業を支える基盤整備」などの7つの施策の柱を盛り込み、職員一丸となって重点的

に取り組むこととしています。

これらの施策を進める上で、農地・農業用水等の土地改良施設の整備は、必要不可欠かつ重要な役割を担うものであり、中心経営体等への農地の集積・集約や果樹産地での作業の効率化など生産性の向上を図るため、農地中間管理機構と連携し、ほ場整備や農業用水利施設、農道等の農業基盤の整備を推進します。

また、昨年の台風15号、19号により関東近県で、多くの家屋の倒壊やライフラインの寸断など甚大な被害が発生し、また、県内の農業分野にも多くの被害がもたらされました。

このことを教訓に、農村地域における防災・減災対策を着実に進めるため、農業用水利施設等の耐震化、長寿命化に取り組めます。

農業・農村を取り巻く環境は引き続き厳しい状況ではありますが、効果的・効率的な施策の推進に努めて参りますので、今後とも県政推進へご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々のご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

## 第62回 通常総会

本年度、第62回通常総会並びに第61回土地改良功労者表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防とこれに対する政府の基本方針を踏まえ、十数名の規模に縮小し3月25日（水）午後2時00分より山梨県自治会館講堂において開催しました。

内藤久夫会長職務執行者の挨拶の後、第61回土地改良功労者表彰式に移り、多年にわたり土地改良事業の業務成績が優秀な、土地改良事業にご尽力いただいた市職員、土地改良区職員へ表彰状及び記念品が贈呈されました。また、土地改良事業の推進に永年ご尽力をいただいた本会役員、県職員、永年勤続の本会職員に感謝状が贈られました。

表彰式終了後、総会議事に移り四ヶ村堰土地改良区小澤理事長を議長に選任し、差出堰土地改良区佐藤理



内藤久夫会長職務執行者 挨拶

事長、六郷土地改良区伊藤理事長を議事録署名人、書記に本会職員2名を任命し議事に入りました。

今回の議決は、総会の規模縮小に伴い定款第37条2項の「書面決議」を行使し会員に対して議決を行いました。

第1号議案から第9号議案まで承認（書面議決を含む）され、第10号議案では役員の欠員による補欠選任を議題とし、規約第16条により詮衡委員会を行い、甲州市長鈴木幹夫氏が推薦されました。併せて会長退任に伴い役員の改選が行われ、別途開催の役員会での互選の結果、令和2年度より新会長に内藤久夫副会長が、新副会長には田中久雄理事が就任しました。任期は残任期間の令和2年4月1日より令和3年3月31日までの1年間となります。

### 提出議案

- 第1号議案 平成30年度事業報告・収入支出決算並びに財産目録の承認について
- 第2号議案 令和元年度事業中間報告について
- 第3号議案 令和元年度収入支出補正予算について
- 第4号議案 令和2年度事業計画について
- 第5号議案 会費の賦課徴収方法並びに受託料算定基準について
- 第6号議案 令和2年度役員報酬について
- 第7号議案 令和2年度収入支出予算について
- 第8号議案 一時借入金の限度額並びに借入方法について
- 第9号議案 積立金の預入先について
- 第10号議案 役員の補欠選任について

## 第61回土地改良功労者表彰並びに感謝状贈呈

### ■団体の部

本年度該当なし

### ■個人の部（順序不同）

小池亮太 笛吹川沿岸土地改良区 総務課 副主査  
森嶋昭人 都留市役所 産業建設部産業課 主査

### ■感謝状贈呈者（土地改良連合会役員関係）

田邊 篤 前 会長

### ■感謝状贈呈者（山梨県農政部関係）

福嶋一郎 山梨県農政部 副参事  
塩入 栄 山梨県富士・東部農務事務所長  
小倉隆宏 山梨県出納局工事検査課 工事検査監

### ■感謝状贈呈者（土地改良連合会関係）

清水道浩 事業部 事業第一課長



笛吹川沿岸土地改良区 小池亮太氏



都留市役所 森嶋昭人氏



# 役員紹介

(任期1年) 令和2年4月1日～令和3年3月31日



会 長 (新)  
(韮崎市市長)  
内 藤 久 夫



副会長  
(笛吹市市長)  
山 下 政 樹



副会長 (新)  
(中央市市長)  
田 中 久 雄



専務理事  
(学識経験者)  
渡 邊 祥 司



理 事  
(甲斐市市長)  
保 坂 武



理 事  
(都留市市長)  
堀 内 富 久



理 事  
(北杜市市長)  
渡 辺 英 子



理 事  
笛吹川沿岸土地改良区理事長  
(山梨市市長)  
高 木 晴 雄



理 事  
(甲州市市長)  
鈴 木 幹 夫【新任】



理 事  
(南部町町長)  
佐 野 和 広



理 事  
(富士川町町長)  
志 村 学



理 事  
(小菅村村長)  
船 木 直 美



総括監事  
(上野原土地改良区理事長)  
奈 良 明 彦



監 事  
(楯無堰土地改良区理事長)  
今 村 正 城



監 事  
(徳島堰土地改良区理事長)  
藤 原 芳 洋

## 第12回 山梨農業・農村シンポジウム

# 2020 語り部交流会 in やまなし

## 水が切り開いた潤いの里 未来へつなぐその豊かな農文化

今年で完成から350年を迎え、現在も広大な農地を潤す「徳島堰」の歴史を語り継ぐとともに、先人の苦労の上に成り立つ豊かな農地や農文化をどのように未来へ継承していくかを考えるシンポジウム「やまなし農業・農村シンポジウム 2020 語り部交流会 in やまなし」を1月18日（土）、韮崎市の東京エレクトロン韮崎文化ホールで開催し、農業関係者など約600人が参加した。

本語り部交流会は、現在も地域の農業生産に重要な役割を果たしている農業用水である「徳島堰」をはじめ、身近な用水路についての歴史を知り、先人が築いてきた土地改良施設や農地を有する農村の豊かさを再発見することで、農業・農村を地域ぐるみで未来へつないでいくことを目的に開催した。

まず、「語り部・かたりすと」としてご活躍されている平野啓子氏より、『伝えたい「徳島堰」の今と昔』と題した語りが披露された。語りでは、地域に伝わる水に関する伝承や信仰の紹介から始まり、江戸時代の



平野氏による語り

徳嶋兵左衛門による「徳島堰」の開削、そして戦後の釜無川右岸土地改良事業に至るまで、徳島堰を中心とした地域の水と農業の歴史について語っていただいた。

続いて、講演では中央大学文学部の西川広平准教授より『「水利」を「推理」 やまなし用水路紀行』と題し、現地を歩き解明した鎌倉・室町時代に遡る用水

路の歴史や、山梨で育まれた鉱山技術が江戸時代に山梨内外の用水路の開削に反映された足跡などを紹介していただいた。

最後に、平野氏をコーディネーターとして迎え、講演をしていただいた西川准教授、徳島堰の恩恵を受ける果樹農園の経営者 中込一憲氏、徳島堰土地改良区理事長 藤原芳洋氏、農林水産省農村振興局次長



西川准教授による講演

奥田透氏の4名によるパネルディスカッションを開催した。深刻な担い手不足に直面する中で、先人が苦勞して築き上げた豊かな農地や農文化をどのようにして未来へつないでいくのかについて、それぞれのパネリストからご自身の見識に基づく提言をいただいた。

今回のシンポジウムを踏まえ、山梨県では、貴重な地域資源である土地改良施設とその歴史を次世代へ継承するとともに、地域活性化や農業の成長産業化に活かしていきたいと考えている。



パネルディスカッション

## 令和 2 年度人事

### 山梨県農政部人事

令和2年4月1日付、県職員人事異動が発令されました。  
農政部及び、各農務事務所の幹部職員は次のとおりです。

#### 農政部

部 長	坂内 啓二
理 事	清水 一也
理 事（山梨土地連）	八巻 武正
次 長	大久保雅直
技 監	安藤 隆夫
技 監	中村 毅
技 監	武井 和人
企画調整主幹	馬場 信吾
部付主幹	岩間 浩
部付主幹	保延 宏治
部付主幹（農業振興公社）	雨宮 真一

#### 農政総務課

課 長	三井 一
部付主幹（総括課長補佐）	北村 徹
農政企画監	田邊 善雄
指導検査監	新井 康友
政策企画監（課長補佐）	久保島 宏
課長補佐	對木 啓介
課長補佐	熊王 広之
課長補佐	穴水 弘晃

#### 農村振興課

課 長	小林 敏樹
課長補佐	斉藤 和司
課長補佐	水上 泰彦
課長補佐	五味亜矢子
課長補佐	松川 勉

#### 担い手・農地対策課

課 長	勝俣 匡章
課長補佐	小林 賢也
課長補佐	細川 洋一
課長補佐	佐々木 斉
課長補佐	山本 裕之

#### 耕地課

課 長	茂手木 知
総括課長補佐	林 美保
技術指導監	藤巻 慎司
課長補佐	高瀬 建
課長補佐	小林 夕介
課長補佐	岡田 豊輝

#### 中北農務事務所

所 長	山田 英樹
次長（事）	野田 昌幸
次長（技）	塩崎 欽哉
担い手対策幹	鈴木 幾雄
農村整備振興幹	山本 林仁
工事施工管理幹	古屋 勝

#### 峡東農務事務所

所 長	上野 公紀
次長（事）	上野 良知
次長（技）	古屋 泉
担い手対策幹	須田 寿一
農村整備振興幹	原田 武
工事施工管理幹	青柳 謹吾

#### 峡南農務事務所

所 長	千野 浩二
次長（事）	佐藤 治
次長（農村整備振興幹事務取扱）	望月 修
担い手対策幹	上野 俊人
工事施工管理幹	福田 克也

#### 富士・東部農務事務所

所 長	渡辺 茂
次長（事）	落合 清司
次長（技）兼担い手対策幹	向山 一弘
農村整備振興幹	向山 直樹
工事施工管理幹	丸山 誠

### 退職者

令和元年度をもちまして退職された方々です。

#### 《農政部関係》

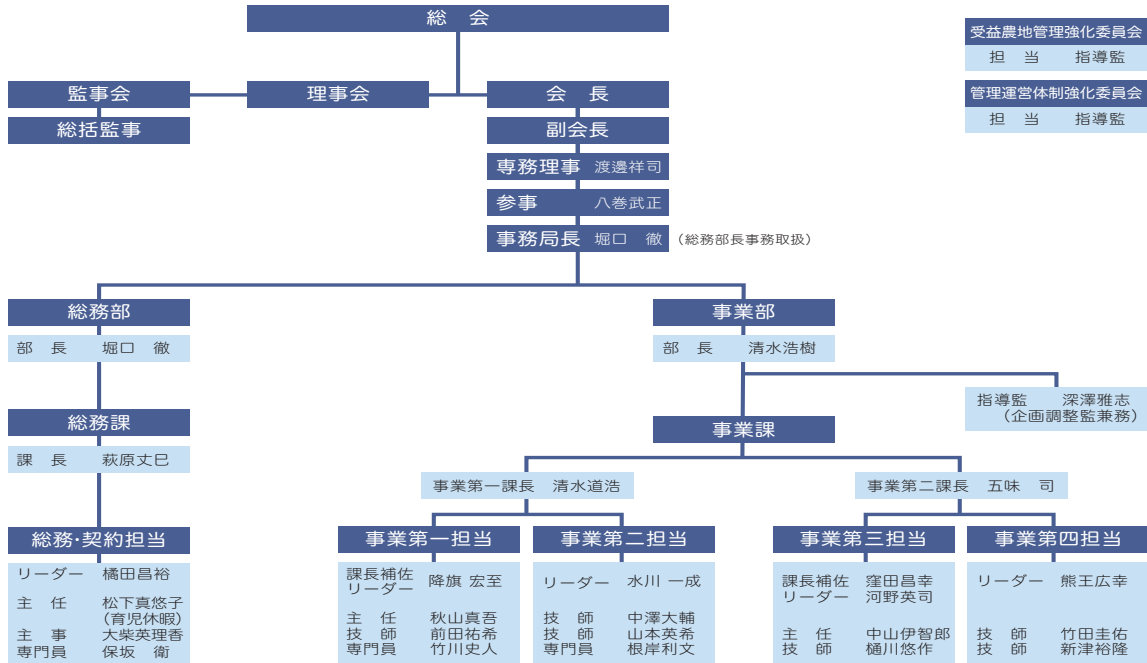
山梨県農政部副参事	福島 一郎
富士東部農務事務所長	塩入 栄
山梨県出納局	
工事検査課 工事検査監	小倉 隆宏

#### 《土地連関係》

事業部専門員	高橋 一郎
--------	-------

# 山梨県土地改良事業団体連合会 機構図

令和2年4月1日現在



## 行事予定表

7/10	土地改良区等役職員研修
10/14	第43回全国土地改良大会群馬大会 (Gメッセ群馬)

## 農業農村整備事業は、山梨県土地改良事業団体連合会へ

- 調査設計・測量
- 換地確定測量
- 農業集落排水事業
- 水土里情報システム



表紙の写真は、第13回やまなし農村風景写真コンクール入賞作品を使用しております。



## 山梨の土地改良 VOL.175

発行：令和2年4月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会  
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階  
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174  
URL : <http://www.yamanashi-doren.or.jp>  
E-mail : [syomu@yamanashi-doren.or.jp](mailto:syomu@yamanashi-doren.or.jp)

